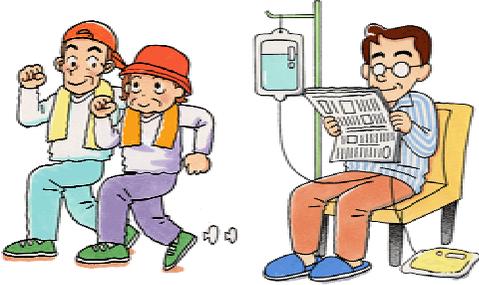
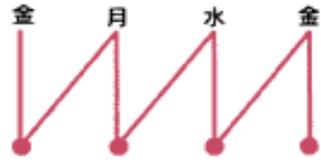


CAPD (APD) とHDの比較

	CAPD/APD	血液透析
透析場所	自宅、会社など清潔な場所ならどこでも可能	病院、あるいは自宅
通院回数	月1-2回(通常1回1時間以下)	月9-13回(1回4-5時間)
社会復帰	生活リズムに合わせて透析が可能 	週2-3回、1回4-5時間の透析中は拘束される 
継続性	現状では8-10年が限度で、限度に近づけば血液透析に変更	既に30年以上継続している患者さんが多くいる
水分・老廃物の体内変動	いつもほぼ一定 	透析前と後で差が大きい 
透析による自覚症状	腹部膨満感	透析中: 頭痛、嘔吐、血圧下降 透析後: 疲労感
自尿(残腎機能)の維持	血液透析に比べ長期間尿量が維持される	透析導入後、徐々に尿量が減少
食事制限	血液透析に比べ緩やか	厳しい制限
水分 食塩 カリウム リン カロリー	制限あり 制限あり ほとんど制限なし 制限あり 制限あり	制限あり 制限あり 制限あり 制限あり 軽い制限
旅行	透析液があれば(持参、あるいは事前に確保)、どこへでも旅行可能。旅行中、バッグ交換時間以外、拘束はない。	事前に旅行先の透析施設の予約をとる。旅行中、透析をする時間は拘束される。